

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

地域をつなぐエアライングループとして、安心な旅と新たな価値の提供を通じて地域社会の発展に貢献

2 中長期の経営戦略

1. 人的生産性の向上

自助努力のみでは制御困難な事業コスト上昇に対応するため、グループ全体で人的生産性の抜本的向上を推進

2. 戦略的マーケティング

需要動向に則した戦略的マーケティング施策展開により、事業コスト増分を吸収可能な健全かつ持続的な運賃水準を維持

3. 国内ネットワーク維持・発展

国土交通省の有識者会議提言をふまえ、国内航空ネットワークの維持・発展のため具体的成長戦略を策定・遂行

4. 財務体質強化

航空機調達・整備費用や新規システム・設備投資に対応するため、短期・中長期経営計画策定と財務体質一層の強化を推進

3 対処すべき課題

① 経営環境の不安定性

- ・国際政治情勢変化と地政学的リスクによる国内外経済への影響が継続中
- ・航空業界の経営環境が極めて不安定かつ厳しく、先行き見通しが不透明

② 事業コスト上昇対応

- ・自助努力のみでは制御困難な事業コスト上昇要因への対応が急務
- ・健全かつ持続的な運賃水準維持と人的生産性向上の両立が必要

③ 人財確保と投資対応

- ・安全な運航堅持に必要な十分な人財確保が課題
- ・航空機調達・整備費用や新規システム・設備投資の資金需要に確実に対応する必要

面接で使えるポイント

- ・北海道と九州・沖縄2地域で地域に根差した航空輸送インフラを運営する企業での仕事内容
- ・国内航空ネットワーク維持という社会的使命と経営環境の厳しさのなかでの課題解決に取り組む姿勢
- ・地場産品輸送など地域経済活性化に資する事業展開を通じた地域貢献の実践例

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

グループ経営支援等を行う株式会社リージョナルプラスウイングス（提出会社 以下

主力事業・セグメント

・空運業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率144.9%と高い収益性

・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
24億円営業利益率
144.9%財務健康度
23点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 25.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収

－（未開示）

平均年齢

－（未開示）

平均勤続

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

